

9月17日は「世界患者安全の日」です。

あなたも、津久見中央病院のスタッフといっしょに「安全な医療」に取り組んでみませんか？

どうすれば、参加できますか？

1. 自分から名前を名乗る。生年月日を伝える。〔患者誤認対策〕
2. 医療スタッフとコミュニケーション

… 自分の受けた検査・治療について

積極的に医師、医療スタッフへ聞いてみましょう。

〔自分のことは自分で納得!〕〔患者さん自身の医療への参加〕

患者さんの医療への参加
(患者参加型医療)



患者さんが医療の受け手としてだけでなく、チーム医療の一員として
積極的に関わることで、「医療の質と安全」が向上します。



世界患者安全の日 とは？

World Patient Safety Day
17 September

世界保健機関(World Health Organization : WHO)は9月17日を「世界患者安全の日」として、患者安全を促進するために世界的な連携と行動を目的として制定しました。厚生労働省も医療安全推進週間や各種団体と協力して、薬剤の誤投与や医療事故の再発防止などの普及啓発活動を行っています。この日を通じて、医療の安全性を高めるために、みんなで協力し合うことが大切です。